地域再生計画

1 地域再生計画の申請主体の名称

別府市

2 地域再生計画の名称

世界の健康回復都市「別府」 きれい・元気づくり
(ONSEN・ツーリズム)

3 地域再生の取組を進めようとする期間

平成16年から約5年(平成20年の二巡目国体開催まで)

4 地域再生計画の意義及び目標

世界有数の温泉地である別府市が有する多種多様な温泉文化等の資源を活用し、地域を活性化させることにより、世界の健康回復都市「別府」として「きれい、元気づくり」を推進し地域再生を図る。最近、民間主導で別府八湯温泉泊覧会やアルゲリッチ音楽祭、別府八湯ウォーク等の新しい取組みが進み、これを「ONSEN・ツーリズム」と定義し、「健康サービス」「スポーツ・コンベンション誘致」「国際化・アジアとの連携」「夜のにぎわい拠点づくり」の4つに分類した上で、市民が住みやすいまちづくりを進めながら産・学・官が協働して地域経済活性化や雇用の確保を図る。

(1) 健康サービス産業の活性化

健康に対する国民の関心は非常に高い。健康的な生活を送るためには予防医学の観点から、日常生活においてそれぞれが自己管理することが求められており、日本一の湧出量を誇る温泉資源、そして繁栄を誇った明治、大正、昭和期の日常生活の文化は別府市にとって大きな近代化資産である。

このため、平成14年度から、温泉地における健康増進すなわち「温泉地療法」の理念に基づいて、地域資源を有効に活用し、心と体の包括的な健康増進を実現する取組として、「別府八湯温泉泊覧会(以下「オンパク」という。)」を春と秋の年2回開催してきた。このオンパクは平成16年4月までに通算5回、延べ80日間開催し、100を超える種類の体験型プログラムを800回以上実施してきた。各種プログラムの平均参加率は80%、参加人員は延べ7,000名。男女比は女性が90%。年齢構成は20代から60代までほぼ均一である。別府市民と大分市民がそれぞれ4割で残り2割が県外を含む他地域の住民である。事業の中に別府八湯ウォークがあり、ボランティアガイド付きのグループでまちのぶらぶら歩きを行っているが、これらの活動に対する道路使用許可の手續の緩和が求められている。

この経験を通じて、オンパクの日常化に向けた動きが始まっており、運営組織として別府ウェルネスコンソーシアムを立ち上げ、健康関連QOL(Quality of Life)尺度を設定して健康データを参加者に還元して、各個人が健康増進に向けた取組を自ら行っていくこととしている。この事業については、民間から平成16年度「健康サービス産業創出支

援事業」の申請をしている。

また、別府は古来からの温泉療養型観光地として、マッサージの技術が非常に高いところであり、優秀な技術を持つマッサージ師が活躍している。最近ではエステやファンゴ等の新しい形のマッサージ産業が活気を帯びており、更に平成12年に開学した立命館アジア太平洋大学をはじめとする市内3大学（以下「3大学」と言う。）にいる3,000名近くの留学生（人口比で大分県は全国2位）の縁によりアジア地域を中心に世界のマッサージ情報が入ってくる。

これらの地域資源を活かし、健康サービス産業による地域活性化に努めることとしているが、健康サービス産業は労働集約型の産業であることから、地域の雇用に大きな好影響を与える。

また、他の温泉地と異なり、別府市は温泉の種類（世界で11種類、別府10種類）、範囲が多彩で非常に広い。このため、温泉地相互の移動の簡便さ、利用勝手の良さにつながる事業展開（例えばワンコインバス）について検討すべきという意見が民間を中心に強くあるので、これらの課題についても検討していきたい。

産学官協働の取組としては次のようなものを考えている。

- ・温泉地療法の普及啓発
- ・温泉地療法の健康状態評価・サービス提供システム
- ・ICカードを使った地域通貨型のポイントシステム
- ・エステ、ファンゴその他の健康産業
- ・世界のマッサージ等の集積
- ・ONSENウェブアカデミー
- ・温泉の有効活用（高齢者の健康・体力づくり研究事業の推進）
- ・介護予防教室・健康教室
- ・生きがい創出（ボランティアガイド活動の推進）
- ・健康サービスと知的サービスの融合（大学等活用）

（2）スポーツ・コンベンションによる活性化

別府市は2002FIFAワールドカップのキャンプ候補地であるとともに、試合チームの練習会場地であった。天然芝のグラウンドを含む施設は、世界基準に対応できるものであり、さらに温水プール、平成15年には西日本有数の総合体育館（別府アリーナ）も整備された。この施設を活かし、Jリーグキャンプの誘致に取り組む。また、温泉地であるという特性も活かしてプロ野球のリハビリキャンプ、自主トレなども活発に行われており、大学・社会人スポーツ合宿・キャンプ、海外（中国・韓国）からのキャンプ誘致にも取り組んでいく。

また、ビーコンプラザ（コンベンションホール）を活用したコンベンションビジネスを活性化するが、特に学会については3大学の持つ国際性、大学の力を活かし、周辺ホテルと連携した運営システムを構築していく。

世界的音楽家、ピアニストであるアルゲリッチを総監督に迎える「アルゲリッチ音楽祭」は本年第6回目を迎え、春の恒例の行事として定着してきた。これを基盤にいつで

もどこでも音楽のあふれるまちづくり(音泉タウン)を推進する。

NHKの21世紀の日本に残したい風景のアンケートで全国2位になった別府の湯けむりは格好のロケポイントであり、過去には「男はつらいよ」、最近では「顔」のほか多数の映画のロケ地として、また、テレビドラマにも多数登場しており、その他にも別府には大正、昭和初期の歴史的建造物や生活文化が色濃く残っているので、これらの各手段を有機的に連携し、文化の薫り高い町として別府を映画、テレビのロケ地として情報発信していく。

産学官協働の取組としては次のようなものを考えている。

- ・ Jリーグキャンプ地の誘致
- ・ プロ野球、大学、社会人等の自主トレ、リハビリキャンプ
- ・ 海外からのキャンプ誘致(中国、韓国)
- ・ ビーコンとホテルが連携した学会運営システム
- ・ 大学等と連携した学会誘致
- ・ 「音泉タウン」「アルゲリッチ音楽祭」等の開催
- ・ 魅力あるロケ地の情報発信
- ・ 効果的な情報発信とプロモーションによる別府ブランドの向上

(3) 国際化・アジアとの連携による活性化

温泉は、日本の特徴ある文化として韓国・中国を始めとしたアジア各国に注目されている。別府はその象徴的な町として著名であり、年間12万人以上の外国人観光客を迎えている。現在、温泉とゴルフを組み合わせた観光パックなどが好評であり、今後とも日本的湯治文化や旅館文化の魅力を再発見する取組を進めていく。

小規模旅館の中には経営が厳しいところも多く、また後継者がみつからないまま廃業に至るケースも今後数多く出てくることが予想される。

一方で旅館経営を試みたいという希望を持ち、一定の資金も有している者が都会を中心にかなり存在するといわれている。現在の制度でこれらの者が旅館経営を引き継ぐことは、法的規制(風俗営業法、旅館業法)や現在の経営者側の心理的抵抗などで順調に進みにくい事情がある。このため、小規模旅館再生のプログラムを作り、公募するというスタイルで幅広く経営者を募るシステムを開発していく。

別府は、かつては大分の食が集まる、大分の食文化の代表的な町であった。大分の食材については関サバ・関あじ、城下カレー、臼杵のふぐ、豊後牛、かぼす、麦焼酎など高まってきているので、大分県を代表する観光地である別府の中に大分を代表する食文化を再発見し、情報発信していく取組を進める。

別府は留学生の町でもある。別府商工会議所、市内の3大学等、別府市は「産」「学」「官」のまちづくり協定を締結しており、相互協力の下、留学生を別府のまちづくりに積極的に活用していく取組を進める。また、日本学生支援機構の運営する大学コンソーシアムおおいたが本年4月、別府市に発足した。大分県が中心となって進めている留学生人材バンク事業も本年秋にはスタートする。

別府駅で民間の協力により運営している外国人案内所やビジターセンター等のツーリ

ズムインフラの整備にも努めていく。

温泉文化の歴史をたどると別府に行き着くと言われる。老舗旅館や別府で生まれた観光素材（温泉マーク、バスガイド等）など別府の持つレトロ感を感じられるまちづくり（油屋熊八翁顕彰）を進める。

産学官協働の取組としては次のようなものを考えている。

- ・小規模旅館の経営者公募
- ・アジア屋台、アジアの民芸品・骨董品通り
- ・「大分の食文化」の情報発信
- ・大学コンソーシアムおおいとの展開
- ・3大学等との協働のまちづくり、留学生観光アドバイザー
- ・アジア諸国との交流による新ビジネス・新文化の創出
- ・観光ビジターセンターの設置
- ・ONSEN・ツーリズムインフラ整備
- ・老舗温泉・別府レトロタウン（別府八湯の歴史・文化の活用・再生）
- ・韓国・中国等からの修学旅行誘致

（４）夜のにぎわい拠点づくりによる活性化

（１）から（３）までの事項の中にも夜間の対策は含まれる。しかしながら、温泉をゆったりした時間の中で、癒しの感覚で楽しんでもらう意味合いでは、健全な夜の過ごし方は極めて重要であるので、一つの項目立てを行ったものである。

小粋な夜の遊び文化として、日本古来の三味線や各種芸事を楽しめるよう、芸事修行の学校を公民館などの遊休施設を利用して造る。そこで豊生活での日常生活所作や日本文化（茶・花・着付け・日本舞踊その他）を教えるとともに、仮装芸者体験のような形で夜の小粋な遊び文化を体験できるようにしていく。

ライブ音楽あるいは大衆演劇、なつかしの映画等についても、60年代、70年代、80年代、90年代と体験した各年代ごとに微妙に感覚が違うものであり、そうしたところが日常的に別府のどこかに存在することで、ゆっくり自分にあった体験をすることができ、くつろげることにつながる。

別府はまた、夜の景観が素晴らしいところである。海からの景観、夜の湯けむり、グローバルタワーからの夜の展望など、夜の景観・ビューポイントの情報を提供し、気軽に楽しんでもらえる環境をつくっていく。

産学官協働の取組としては次のようなものを考えている。

- ・デイ・ナイトイベント（まちづくり座談会、音楽会、文化講演会、演劇等の開催、飲食店等）
- ・ナイトツアー（夜の路地裏散歩、夜景観光バスツアー、仮装芸者体験 その他）
- ・夜のにぎわい創出（温泉、観光施設（夜間営業）、夜景展望スポット、ライブハウス、飲食店等）
- ・夜景ビューポイントの整備（海、山、温泉等）
- ・芸事修行（地元民謡、舞踊、三味線等の伝承）

5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

構想の内容が多岐に亘るが、次の項目ごとに、経済的社会的効果を検証していく。

健康サービス産業の活性化

健康サービス産業は労働集約型の産業であるので、観光客、宿泊客が伸びればそれに応じて地域経済が活性化し、雇用が確保される。

数字としては、根拠がはっきりしている入湯税対象者数と宿泊客数、マッサージ従事者数を用いて検証していく。

項目	目標時点	目標値
入湯税対象者数	222万人	300万人
宿泊客数	400万人	500万人
マッサージ従事者数	150名	200名

なお、別府ウェルネスコンソーシアムが経済産業省に提出している計画数値を参考までに示すと、は次のとおりとなっている。

オンパク通年化による効果

年間参加者	延べ700,000人
市場規模	17.5億円
雇用創出効果	350人

スポーツ・コンベンションによる活性化

各形態ごとに目標数値を設け、進行管理していくが、こうした数字だけでなく別府の印象アップを主眼に置きたいので、総合評価はマスコミ各社、旅行代理店などによる印象度に関連した調査結果で判定することとするが、基礎的データについては産、学、官によるモニター制度や各種アンケート調査等により実施する。

（評価の対象となる調査範囲）

- ・主催者及び参加者のアンケート調査
- ・JTBの実施するアンケート調査
- ・業者に委託する各種調査

（数値目標を設定するもの）

キャンプ、合宿参加者延べ数、コンベンション施設利用者数、別府アリーナ利用者数、学会参加者延べ数、映画、テレビ登場回数等

国際化・アジアとの連携による活性化

各形態ごとに目標数値を設け、進行管理していくが、これらの数字だけでなく別府の印象アップを主眼に置きたいので、総合評価はマスコミ各社、旅行代理店などによる印象度に関連した調査結果で判定することとする。

(評価の対象となる調査範囲)

- ・別府市外国人旅行者受入協議会による国別観光客調査
- ・JTBの実施するアンケート調査
- ・業者に委託する各種調査

(数値目標を設定するもの)

外国人宿泊者数、小規模旅館の新規参入者数、チャレンジショップ開設者数、留学生人材バンク利用者数等

夜のにぎわい拠点づくりによる活性化

各形態ごとに目標数値を設け、進行管理していくが、こうした数字だけでなく別府の印象アップを主眼に置きたいので、総合評価はマスコミ各社、旅行代理店などによる印象度に関連した調査結果で判定することとする。

(評価の対象となる調査範囲)

- ・参加者のアンケート調査
- ・JTBの実施するアンケート調査
- ・業者による各種アンケート調査

(数値目標を設定するもの)

芸事修行の参加者数、ライブ音楽館等入場者数、グローバルタワー入場者数

6 講じようとする支援措置の番号及び名称

- 201001 映画ロケ、イベント等に伴う道路使用許可の円滑化
- 201002 民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化
- 212002 道路占用許可の弾力化(オープンカフェ等)
- 230001 道路使用許可・道路占用許可の手續改善
- 212028 まちづくり交付金の創設

7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他の関連する事業

なし

8 その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

なし

別 紙

1 支援措置の番号及び名称

201001 映画ロケ、イベント等に伴う道路使用許可の円滑化

2 当該支援措置を受けようとする者

別府市・別府市まつり協会・別府八湯ウォーク連絡協議会・別府八湯温泉泊覧会実行委員会 等

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

別府市内には、別府八湯と呼ばれる八つの温泉地があり、それぞれが個性のある温泉地を形成しており、そのうち6つの温泉地で地元住民がボランティアガイドとなり、ウォーキングツアーを実施している。また、別府八湯温泉泊覧会（オンパク）は温泉を活用した心と体の包括的な健康増進を実現する取組として、平成14年度から春と秋の年2回開催し、別府市内の各地域で様々なプログラムを実施している。

それぞれの地域のまちづくり団体は、ウォーキングツアーのみでなく、別府八湯の個性を活かしたイベント（ゆかたdeピンポン、路地裏文化祭など）を企画、実施しており、オンパクについても、様々なプログラムが日常的に行われるように検討しているところである。また、温泉まつりなどにおいても別府八湯のそれぞれの地域でのイベントを企画、実施している。また、別府を全国にPRしていくため、映画ロケ等の誘致についてもフィルムコミッションの立上げを検討しているところである。それらのイベントをそれぞれの地域にある道路や商店街等（駅前通りを中心とした別府駅周辺地区、鉄輪地区等）において実施することは地域の活性化に有効である。

したがって、今後は、別府八湯のそれぞれの温泉地でイベントを行う際に、道路や商店街を利用したオープンカフェ等の企画・開催を検討することにより、イベントを一層盛り上げ、地域の活性化を図る。

なお、上記のイベント等の実施にあたっては、当該支援措置により発出された通達に基づき、地域住民、道路利用者等の合意形成を図るために本市、フィルムコミッションが連携・協力することで、イベント開催やロケの誘致により積極的に取り組んでいく。

別 紙

1 支援措置の番号及び名称

201002 民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化

2 当該支援措置を受けようとする者

別府市・別府市まつり協会・別府八湯ウォーク連絡協議会・別府八湯温泉泊覧会実行委員会 等

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

別府市内には、別府八湯と呼ばれる八つの温泉地があり、それぞれが個性のある温泉地を形成しており、そのうち6つの温泉地で地元住民がボランティアガイドとなり、ウォーキングツアーを実施している。また、別府八湯温泉泊覧会（オンパク）は温泉を活用した心と体の包括的な健康増進を実現する取組として、平成14年度から春と秋の年2回開催し、別府市内の各地域で様々なプログラムを実施している。

それぞれの地域のまちづくり団体は、ウォーキングツアーのみでなく、別府八湯の個性を活かしたイベント（ゆかたdeピンポン、路地裏文化祭など）を企画、実施しており、オンパクについても、様々なプログラムが日常的に行われるように検討しているところである。また、温泉まつりなどにおいても別府八湯のそれぞれの地域でのイベントを企画、実施している。それらのイベントをそれぞれの地域にある道路や商店街等（駅前通りを中心とした別府駅周辺地区、鉄輪地区等）において実施することは地域の活性化に有効である。

したがって、この支援措置により発出される通達の内容に沿って、今後さらに、別府八湯の個性を活かした様々なイベントや活動等の企画・開催を検討することにより、地域の活性化を図る。

別 紙

1 支援措置の番号及び名称

212002 道路占用許可の弾力化（オープンカフェ等）

2 当該支援措置を受けようとする者

別府市・別府市まつり協会・別府八湯ウォーク連絡協議会・別府八湯温泉泊覧会実行委員会 等

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

別府市内には、別府八湯と呼ばれる八つの温泉地があり、それぞれが個性のある温泉地を形成しており、そのうち6つの温泉地で地元住民がボランティアガイドとなり、ウォーキングツアーを実施している。また、別府八湯温泉泊覧会（オンパク）は温泉を活用した心と体の包括的な健康増進を実現する取組として、平成14年度から春と秋の年2回開催し、別府市内の各地域で様々なプログラムを実施している。

それぞれの地域のまちづくり団体は、ウォーキングツアーのみでなく、別府八湯の個性を活かしたイベント（ゆかたdeピンポン〔8月開催〕、路地裏文化祭など）を企画、実施しており、オンパクについても、様々なプログラムが日常的に行われるように検討しているところである。また、温泉まつりなどにおいても別府八湯のそれぞれの地域でのイベントを企画、実施している。それらのイベントをそれぞれの地域にある道路や商店街等（駅前通りを中心とした別府駅周辺地区、鉄輪地区等）において実施することは地域の活性化に有効である。

したがって、今回の道路占用許可の弾力化を受けて、今後さらに、別府八湯の個性を活かした様々なイベントや活動等の企画・開催を検討することにより、地域の活性化を図る。

なお、上記の実施にあたっては、今後発出されるガイドラインの内容に従って、円滑に実施できるように努める。

別 紙

1 支援措置の番号及び名称

230001 道路使用許可・道路占用許可の手続改善

2 当該支援措置を受けようとする者

別府市・別府市まつり協会・別府八湯ウォーク連絡協議会・別府八湯温泉泊覧会実行委員会 等

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

別府市内には、別府八湯と呼ばれる八つの温泉地があり、それぞれが個性のある温泉地を形成しており、そのうち6つの温泉地で地元住民がボランティアガイドとなり、ウォーキングツアーを実施している。また、別府八湯温泉泊覧会（オンパク）は温泉を活用した心と体の包括的な健康増進を実現する取組として、平成14年度から春と秋の年2回開催し、別府市内の各地域で様々なプログラムを実施している。

それぞれの地域のまちづくり団体は、ウォーキングツアーのみでなく、別府八湯の個性を活かしたイベント（ゆかたdeピンポン、路地裏文化祭など）を企画、実施しており、オンパクについても、様々なプログラムが日常的に行われるように検討しているところである。また、温泉まつりなどにおいても別府八湯のそれぞれの地域でのイベントを企画、実施している。それらのイベントをそれぞれの地域にある道路や商店街等（駅前通りを中心とした別府駅周辺地区、鉄輪地区等）において実施することは地域の活性化に有効である。

したがって、今回の道路使用許可・道路占用許可の手続改善を受けて、一方の窓口への一括申請が可能となれば、申請主体の負担が軽減されることから、今後さらに、別府八湯の個性を活かした様々なイベントや活動等の企画・開催を検討することにより、地域の活性化を図る。

別 紙

1 支援措置の番号及び名称

212028 まちづくり交付金の創設

2 当該支援措置を受けようとする者

別府市

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

別府八湯のそれぞれの温泉地では、古くから湯治文化が育まれており、この地区を、ゆっくり散策できるようなまちづくりが行われている。地区内にはたくさんの温泉施設や旅館・ホテル等が集積しており、温泉湯治文化を保存・活用していく活動が進んできている。

しかしながら、地区内の道路環境の整備は遅れており、安心・安全に歩行できる空間とはなっていない状況である。また、地区内にはNHKが行った「21世紀に残したい日本の風景」で第2位に選ばれた湯けむりが無数に立ち上っており、これらの温泉地の景観を活かした魅力あるまちづくりを進めていくことが課題となっている。

このため、市町村の自主性や裁量性を追及した「まちづくり交付金の創設」を活用することで、温泉地としての環境整備を効率的かつ重点的に実施することを検討する。

なお、事業推進にあたっては、市民と協働の都市再生整備を実施するため、官民で協働して行っていく。